

一撃手喰い 大会ルール

■ 日時

2026年7月19日(日) 受付：4:30～5:00 / 競技：5:30 ～ 12:00

■ 場所

黄金マリン（北海道伊達市南黄金町73）

■ 対象魚

ヒラメ

■ 釣法

ルアー釣り と エサ釣り（撒き餌・漁具は使用禁止）

■ 審査規定・ポイント換算

検量は1尾のみ持ち込み可能とし、そのスコアで順位を決定します。

【ポイント計算式】

体長（mm） + 【重量（g） ÷ 10】 = 合計ポイント

【計測のルール】

- ・ 体長計測：5mm単位（未満切り捨て）で計測し、記録とします。
- ・ 重量計測：50g単位（未満切り捨て）で計測し、記録とします。

【計算例】

◎魚A：体長 610mm / 重量 2,150g の場合
 $610 + (2,150 \div 10) = 610 + 215 = 825$ ポイント
◎魚B：体長 550mm / 重量 2,200g の場合
 $550 + (2,200 \div 10) = 550 + 220 = 770$ ポイント

【同ポイント（タイ）時の順位決定規定】

計算の結果、合計ポイント同点で並んだ場合は、以下の優先順位に従って順位を決定します。

1. 体長が長い方を上位とする。
2. 体長、重量共に一致の場合は、「同位」とします。

■ キーパーサイズ

40cm以上

■ デッドフィッシュ（死魚）

デッドフィッシュ（死魚）の検量は可能とし、ポイントへのペナルティは課しません。

ただし、ヒラメの場合、死魚は生体に比べて体長が5～10%ほど縮む傾向があり、ポイント計算で著しく不利になる可能性がありますので、可能な限りライブウェル等で生かした状態でのキープを推奨します。

大会使用可能エリア・航行規定

■ 使用可能船

大会では、ポケットボート・和船・遊漁船を使用する。

- * ポケットボートは、1名ないし2名での乗船とし、指定エリア内を自由航行できる。
- * 和船・遊漁船ともに乗船は乗船定員までとし、ポケットボートと同じ指定エリア内を自由航行できる。



・・・航行可能エリア



■ 航行可能エリア

- * 北側（地図右側）：黄金漁港手前、テトラの切れ目まで
- * 南側（地図左側）：崎守防波堤切れ目まで
- * 沖側：地図上では便宜上「赤い枠線」を設けておりますが、明確な境界制限はありません。各自分のボートの性能や当日の気象状況・海上の様子を十分に考慮し、「自己判断で確実に安全の確保ができる範囲内」での航行・釣行を徹底してください。

※ 室蘭港内（防波堤内側）は完全に侵入禁止とします。

※ 自身の安全はもちろん、周囲への迷惑や救助を必要とする事態を招かないよう、無理のない範囲で船位を維持してください。

注意事項・競技規定

■ タックル・釣法に関する規定

- * 釣法はルアー釣り・エサ釣りに限る。
- * 撒き餌・漁具の使用は禁止する（ただし、アラバマリグの使用は可）
- * トローリング（エンジンの推進力を利用して釣果を得る行為）は禁止とする。
- * 置き竿は禁止とする。同時に使用出来る竿は1人1本までとする。
- * 魚探の持ち込みは可とする。
- * ポイントについては先行者が優先となる。先行者がいる場合、半径20m以内に近づいてはならない（先行者とは、釣りをする為に停泊、またはキャストイングなど釣りを行っている状態を指す）。
- * 陸上に釣り人が居た場合、そのキャストイングの範囲内に近づいてはならない。

■ 安全・モラルに関する規定

- * 大会中の飲酒、および酒気帯び状態での参加を禁止とする。主催者が酒気帯びと判断した場合は、即時失格とし、下船・帰着を命じるものとする。
- * ルアー、ライン、タバコ等のゴミは海に捨ててはならない。
- * ターゲットを故意に引っ掛けてはならない。
- * ライフジャケット（桜マーク付き）を必ず着用し、大会中に外してはならない。もし着用が認められない場合、その場で釣りを中止し、順位を取り消し、今後の大会への出場を永久に行えないものとする（着替え等による一時的な着脱は除く）。
- * 桜マークのないライフジャケット（ゲームベスト等）・ウェーダー・スパイクシューズの着用は禁止。
- * ボートをブイやロープ、網等、その他海上物に係留してはならない（アンカーおよびパラシュートアンカーの使用は可）。
- * 海上の網やロープ・ブイの近くを航行してはならない。
- * エリア外での釣りを禁止とする。

運行・検量スケジュールおよび管理

■ スタート・ストップフィッシング

- * フライト順は抽選により決定する。出港後、一旦全船が沖合で待機、集結すること。
- * スタートは大会本部の合図（ホーン）をもって開始とする。安全確保のため、遊漁船、和船、ポケットボートの順に順次スタートし、ポケットボートは番号のプラカードを掲げ、前の船がスタートしてから10秒の間隔を空けて順次発進すること。
- * 合図前の競技開始（ポイントへの移動および仕掛けの投入）はフライングとみなし、失格の対象となる場合がある。
- * ストップフィッシングは、遊漁船・和船は11時40分、ポケットボートは12時00分とする（海上にて行います）。
- * ストップフィッシング後は速やかに納竿・片付け等の帰着準備を行い、安全に帰着すること。
- * 安否確認の為、船の代表者が大会公式LINEにて帰着報告をすること。

■ 緊急時の連絡

トラブルの際は速やかに【海上での緊急連絡先】0142-23-1053（黄金マリン）または、080-3235-0728（橋本）へ連絡し、その後、大会本部 080-1063-1907（土方）またはLINEにて連絡すること。大会本部にて状況を判断し、やむを得ない場合に限り、釣行時間の延長を許可することがある。

■ ライブウェル・魚の管理

- * ライブウェルへのキープ数は規制しないが、検量持ち込みは1人1尾までとする。
- * 同船者とライブウェルを共有する場合、必ずマーキングをし、常に個人の魚を識別可能にすること（抜き打ち検査を実施する）。
- * マーキングの無い魚については没収・検量不可とする。マーキングは大会受付時に配布する。
- * 大会中、釣った魚を他人に譲渡してはならない。
- * 大会時間外に釣った魚を検量に持ち込んではいない。
- * 不正行為が発覚した場合、順位を取り消し、今後の大会への出場を永久に行えないものとする。また、参加費および乗船費の返金には一切応じかねます。

■ 検量および釣果の取り扱い

- * 検量ウエイト（およびポイント）に対して不服がある場合は1度のみ申立てにより再検量が認められる。ただし、2度目の検量結果が公式記録となる。
- * 検量した魚は選手個人の責任において処理するが、リリースを推奨する。ただし、デッドフィッシュのリリース（海へ捨てる行為）は禁止。各自で持ち帰り、適切に処理すること。

免責事項・メディア規約

■ 天候悪化時の規定

- * 大会中、荒天等で競技中止の場合は携帯電話および出場者相互連絡とする。
- * 中止指令が出た時、またはご自身で荒天により危険を感じた時は、すみやかに大会本部に帰着するか、安全な場所に避難すること。避難した場合は大会本部に安否をLINEにて連絡する。
- * 中止指令発令後の釣りは一切禁止とする。順位については、発令時点で保持している釣果のみを検量対象とし、順位を決定する。
- * 大会は開始2時間を経過した時点で、成立したものとする。
- * 中止に起因する不服申し立てがあっても、それは受け付けない。

■ 安全と免責

- * 大会中は緊急事態を除き、大会本部以外に上陸してはならない。
- * 大会中に事故が起こった場合は人命救助を最優先とする。
- * 海上・陸上を含め、事故については自己責任とし、大会実行者・大会協賛スポンサー等は一切責任を追わないものとする。
- * 大会中の事故の補償については、保険の範囲内とする。

■ メディア・肖像権に関する規約

- * 大会中に主催者および大会関係者が撮影した写真・動画・音声等に関する一切の権利は、主催者に帰属するものとする。
- * 大会の様子（氏名、肖像、競技風景等）は、主催者が運営するWebマガジン「fanoram」（ファンoram）、YouTube、SNS、および今後の大会告知やプロモーション活動において、無償かつ無期限に利用・掲載されることがある。
- * 大会へのエントリーをもって、メディア等への露出および多目的利用に同意したものとみなす。ただし、特別な事情によりメディア露出が不可能な場合は、必ずエントリー時に事務局へ申告すること。事前の申告がない場合、事後の削除要請には応じかねるものとする。
- * 大会中の写真・動画の撮影およびSNSへの投稿を推奨する。
- * 本大会はメディア露出を前提としたイベントであり、競技エリア（海上）および大会会場、各艇内等における撮影、およびSNS等への投稿において、参加者同士は互いに写り込みを許諾し合うものとする。ただし、他者を誹謗中傷する目的や、明らかに不利益を被る形での投稿は禁止とし、これに違反した場合は不正行為と同様の処置をとる。

■ 施設利用上のマナー

- * 会場および施設内（駐車場・スロープ・売店等）には、大会参加者以外の一般利用者も多数いらっしゃいます。一般のお客様に対する無断撮影やSNS等への映り込みは厳禁とし、プライバシーを侵害しないよう細心の注意を払うこと。
- * 通路の占拠、荷物の放置、騒音等、他のお客様の迷惑となる行為を禁じ、公共のマナーを守って施設を利用すること。これらに関する苦情や指摘があった場合、不正行為と同様の処置をとる場合がある。
- * 参加者同士、または一般の利用者とのSNS投稿等に起因する紛争やトラブルについて、主催者は一切の責任を負わない。

■ その他

- * 本ルールに定めのない事項、および天候・事故等を含むあらゆる疑義が生じた場合は、大会実行委員会の裁定に従うものとします。

以上